

島根県砂防ボランティアNEWS

NO. 112

大和小学校 土砂災害防止学習会

日 時 令和元年6月13日(木) 20日(木)
 活動箇所 邑智郡美郷町立大和小学校
 参加人数 参加人数 4人 (内協会員2名、県央県土整備事務所2名)

島根県県央県土整備事務所と協力し、美郷町立大和小学校の5年生の児童の皆さんを対象に総合的な学習の時間と社会科の授業の一環として土砂災害防止学習会を開催しました。

学習会ではスライドや映像、模型実験等により土砂災害の恐ろしさや日頃からの備え等を学んで頂き、学んだことを家庭に持ち帰り家族で土砂災害について考えて頂きました。

(スライドや映像による学習)



(模型実験による学習)



(R1.6.17中国新聞)

梅雨に備え防災学んだよ
 美郷の大和小 地図で危険箇所確認

梅雨に備え防災知識を身に付けるための授業が、美郷町の大和小であった。5年生7人が、土砂災害の危険性や身を守るための準備の大切さなどを学んだ。

児童は、県央県土整備事務所の石丸秀樹所長から、土砂災害の発生の仕組みを聞き、危険な場所を知る▽いつが危険なのかの情報を得る▽早めに避難する▽などの心構えを習った。同町が昨年6月に作成したハザードマップで、自宅や学校周辺の危険な場所や避難施設を確認し、学校近くにある砂防ダムも見学した。

石丸所長(左端)からハザードマップを説明するなどを見せてもらった。高さ約5・5メートルの堤を見上げ、「こんな近くにあるなんて知らなかった」と感嘆を言い合っていた。

児童は習った内容を基に家族と話し合っ家庭の防災対策をまとめ、20日に発表する。田原風紗さん(10)は「災害は怖い。家族で相談し、早く避難できるように備えたい」と話していた。(城戸昭夫)

手をつなごう！砂防ボランティア